



第18号

発行 平成21年5月25日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 黒沢 英宣

かがやき

目次

- 1 お世話になりました!! (皆川前副館長)
- 2 よろしく願いいたします! (佐川新副館長)
- 3 利用者からの感謝の手紙
- 楽しく聞いたお話し会 -
- 4 子ども読書フェスティバル
- 「ブック・マ・くん」もひと役 -
- 5 ボランティアのつづやき
- 6 ボランティアは、今
- 郷土資料整理ボランティア -
- 7 ボランティア協議会から
編集後記



1 お世話になりました !!



前副館長 皆川 道典

ボランティアの皆様、長い間大変お世話様になりました。

私(皆川)は、今春3月31日を持ちまして、定年退職いたしました。

県立図書館勤務は、旧館時代を含め16年間の勤務になります。

県立図書館ボランティア活動は、平成13年の新館開館と同時に発足し、現在11分野に約160名の方が登録され、それぞれの分野で活発に活動なされ、県立図書館の大きな力となっております。本当に感謝申し上げ

げます。

筑波大学のボランティアとの交流、読書フェスティバルのコーヒー販売、古本マーケットなど楽しい事が懐かしく思い出されます。

図書館は、利用者やボランティアの皆様



に育てられております。今後も一層県立図書館のサポーターとして、ご意見、ご提言を賜り、県立図書館の機能・サービスの充実にご協力願いたいと存じます。

また、お会いできることもあると思いま

すので、その折はよろしくお願ひいたします。

ボランティアの皆様、お身体に気をつけてご活躍ください。本当に長い間、ありがとうございました。



2 よろしくお願ひいたします！



新副館長 佐川 美代子

この4月に赴任して参りました副館長の佐川と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

皆様方には県立図書館ボランティアとして、平成13年の新館開館以来ご活躍いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、私、旧館時代に図書館に採用となりまして、館外奉仕課、館内奉仕課、資料課と14年にわたり在籍しておりました。特に館外奉仕課勤務が長く、配本車に乗って県内の図書館、公民館、学校等を訪問したことは、良き思い出となっております。この度、19年ぶりに図書館を体験しております。名称は同じく茨城県立図書館、しかも業務内容も基本的には同一なのですが、建物は違いますし、なにより県民への対応が非常に積極的であり、古くいかめしい昔の図書館とは一線を画し、広く大きく、まるで異空間のような感すらあります。

着任して間もなく、お堀の桜の美しさに圧倒され、下旬には「御衣黄」という緑の桜を館の前で初めて目にすることもできました。赤・ピンク・白のツツジや灯台躑躅も満開を迎え、季節ごとの植物が見事な素晴らしい環境に恵まれた図書館であることを実感しております。

これからも「明るく便利な開かれた図書館」をスローガンに、平成15年11月13日に迎えた記念すべき100周年からさらに次の100年に向け、皆様と一丸となって歩みをすすめて参りたいと考えております。



御衣黄(ぎょいこう)



新普及課長 岩松 邦男

この度の定期異動により赴任して参りました、普及課の岩松です。よろしくお願ひします。

今、毎日の仕事に、とまどいと職責の重さをひしひしと感じ

ているところです。

一日平均 2,200 人の入館者数、一日平均 2,800 点の貸出点数、全国の都道府県立図書館の中でも利用の多い図書館と聞いてビックリしております。

この陰には、11 分野、約 160 名のボランティアの皆様お一人お一人の力があつたからこそと思います。

先日も、盲導犬を連れた方が来館しました。話を聞くと、代読ボランティアの方に

よる対面朗読と聞いて、頭の下がる思いでした。

こどもから、高齢者の方にまで、夢と希望を与えてくれているボランティアの皆様、これからも共に協力、連携を深め図書館サービスの向上が図れるよう努めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしく願います。



3 利用者からの感謝の手紙



～ 楽しく聞いたお話し会 ～

うれしい報告があります。

児童サービスボランティアの読み聞かせ活動に、水戸から静岡県に転居した T さん親子から感謝のお手紙と花束が寄せられました。

楽しいお話し会

たくさん聞くことができ、親子で心豊に過ごすことができました。皆様との出会いに感謝します。

生後 6 ヶ月頃より通わせていただきました。楽しいお話をたくさん聞かせていただき親子で心豊かに水戸生活ができました。ありがとうございました。みなさまとの出会いに感謝いたします。お別れはさみしいですが、静岡でもまた絵本を読んでたのしく元気に過ごしたいと思います。

2009 年 3 月

静岡県 T.A. A(4 歳) Y(2 ヶ月)



「図書館にお話 聴きに行こうね」「うれしい」親子の会話がみえるようです。

静岡でも楽しい生活が待っていることでしょう。

良い絵本を選んでの腹話術、読み聞かせ、エプロンシアターなどで、活動なさっている児童サービスボランティアの方々には、とりわけうれしいことでしたでしょう。私達図書館ボランティアにも、励みになるご報告です。

〔広報 土屋 純子〕



4 子ども読書フェスティバル



～「ブック・マ - くん」もひと役～

晴天続きのゴールデンウィークでしたが、5日のこどもの日はあいにく朝から曇り空。それでも乳母車に乗った赤ちゃんから元気な小学生まで、たくさん子ども達が朝から姿を見せてくれて、にぎやかに子ども読書フェスティバルが行われました。若いお父さん・お母さんや、お年寄りなど、たくさんの人達が様々なイベントを楽しみました。

こども達の人気者、ブック・マーくん

午前10時30分からと午後12時30分からの二回、子ども読書フェスティバルのシンボル、ブック・マーくんが、図書館玄関から三の丸広場をひと巡りしました。

子ども達は握手をしたり、しっぽを触ったり、持っている大きなご本を覗いてみたり、大喜び。一緒に記念写真もたくさん撮りました。



広場でのおはなしテントでは、こども達に囲まれて、一緒にお話を聞きました。

子ども達の声を拾ってみました。

ブック・マーくんの抱えている本をのぞい

て、「ご本読んでー」「この本、何も書いてない」後ろに回りこんで、「鬼ごっこしよう！私はどこにいますか？」

その他、「お面とって顔見せてー」「みんなでジャンプ！」「もうそろそろ帰っちゃうのかなー？」

一回り終えた後、着ぐるみを脱いだ素顔のブック・マーくん更衣室でお話を伺いました。汗びっしょりで、とても大変そう



と声をかけると、中から出てきた若い女性の返事は「もう何回も入っているのだから、慣れれば平気。サウナに入っている気分です」「この役は好きだから、楽しんでやっています。好きでないとできないでしょうねー。趣味みたいなものです」とのことでした。

〔広報 上野 清子〕

5 ボランティアのつぶやき

子ども読書フェスティバルのお手伝いをしました。(活動との指摘をうけそうですが)私の中ではお手伝いしかできていないとの思いがあり、いつもボランティアの仕事とは??の思いを持っています。何をしたいのか解らないままで、もう少し行事内容を知っていたらと思える場面が沢山ありました。演奏者へのプレゼントのお預かり、スライド映写の照明の切り替えどき、参加人数のカウント等。

そうしたら、職員との距離ももうすこし近く、図書館が身近なものになる気がしています。身近なものにならなくてもよいのかも、とも思いますが…………。



6 ボランティアは、今



～ 郷土資料整理ボランティア

日常活動の場が、ほとんど自宅であることにびっくり!!

1 どんな活動をしているのですか?

- (1) 県立図書館所蔵の古文書を解読し、解読文を作成する。
- (2) 解読文をパソコンで入力し、保管する。
- (3) 解読文書を製本化する。

2 何人で活動しているのですか?

現在 8 名で活動中



3 活動場所や回数は?

- (1) ボランティア室での会議は、年 4～5 回程度(会議の目的:資料の交換、解読作業の進捗状況の相互確認、年度計画の決定等)
- (2) 日常活動の場は、ほとんど自宅である。それぞれ自宅に郷土資料(古文書)のコピ - を持ち帰り、日常、解読に精を出し、解読文を作成している。

4 今年度の活動計画は?

- (1) 「否塞録」(ひさいろく・水戸藩家臣某著)の解読・パソコン入力・製本化
- (2) 「駅路鞭影記」(えきろべんえいき・水戸藩家臣某著)の解読・パソコン入力・製本化



- (3) 「みち草」(雨宮端亭著)の解読・パソコン入力・製本化
- (4) 「大津浜上陸」、「海防の集説」(いずれも加藤松蘿著)の解読・パソコン入力・製本化

5 活動上で、何か課題はありますか?

現在よりもっと、ボランティアを増やしたい。

- (1) 古文書解読ができる方(しかし、初心者も大歓迎とのこと!!)
- (2) パソコン(Word)入力のできる方

【見聞後記】

ボランティア室でのメンバ - の皆様の会話は、明るくなごやかで自由な雰囲気には満ちていました。古文書の原本の写真撮影の時は、唐沢矩子副委員長が白手袋をして資料に触れ、水戸藩当時に綴られた貴重な原本をそっと広げていただきました。

机上の墨跡未だ鮮やかな文面にレンズを向けた時、「歴史のかおり」というより「水戸のかおり」がほのかに立ちのぼってきた

ような気がして、一瞬目が釘付けになりカメラのピントがブレました。

図書館職員として担当の情報資料課・長山尚子さんも同席し、きちんとサポートされていたのも好印象でした。

メンバ - お一人お一人の「郷土資料解読に対する熱い思い」を感じつつ、にぎやかな討論の続いている中を、私はそっと退出させていただきました。

〔広報 黒沢 英宣〕

7 ボランティア協議会から

4月19日(日)に開催した協議会で決定した事項の要点をお知らせします。

- (1) 役員選出
会計 黒澤英宣 監事 木村澄子
副会長の選出は、次回協議会で行う
- (2) ボランティア全体会
期日 平成21年5月29日(金)
- (3) ボランティア研修会
各分野から意見・希望を普及課まで
- (4) ボランティア見学会
各分野から希望見学先を6月中下旬開催予定の次回協議会へ提出してもらう
- (5) ロータリークラブ支援金の配分
各分野から計画内容・実施時期・費用の用途を文書で次回協議会へ提出してもらう
- (6) フェスティバル参加の係員に対する手当等について
手当支給等について次回協議会で検討する

編集後記

ご存知と思いますが、図書館ボランティアは実働9分野にわかれています。

資料配架、三の丸書庫、郷土資料整理など、じみで目立たない部分での活動分野もありますので、広報“輝”ではいろいろな分野の活動報告をとりあげていきたいと思えます。

“輝”がモットモット良くなるようボランティアの皆様の広報活動への参加を期待しております。



〔土屋 純子〕

ボランティア室の棚を整理しました。
自分の棚を確認し、エプロンに名札をつけて置いてください。